

農林水産大臣賞及び長崎県知事賞

農林水産大臣賞 及び 長崎県知事賞

受賞部門：畜産部門（トップファーマー）

氏名

おおいし けいすけ
大石 啓介

おおいし けいこ
大石 恵子



市町名 松浦市

所属団体 JAながさき西海鷹島和牛
改良組合

1 経営の概要

	主品目（肉用牛繁殖）	その他（水稲、野菜）	合計
作付面積（頭羽数）	繁殖牛 145 頭	水稲 15a ブロッコリー 140a スナップえんどう 14a	繁殖牛 145 頭 水稲 15a ブロッコリー 140a スナップえんどう 14a
単収	子牛出荷率 86%	—	—
生産量（販売量）	出荷子牛 125 頭 経産肥育牛 12 頭	水稲 0.6t ブロッコリー 12.8t スナップえんどう 1.3t	—
労働時間 （うち雇用時間）	7,200 時間 (2,400 時間)	4,000 時間 (0 時間)	11,200 時間 (2,400 時間)
家族従事者数	4 人	経営の継続性	本人が後継者
労働条件の整備	就業規則に関する規定有		
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	エコフィードの利活用、堆肥の供給、抗生剤等使用低減取組、自給飼料 生産履歴記帳、生産履歴に基づく販売、資源循環（地域部門間連携：3 者間）		

2 受賞の理由（特徴的な取組）

- (1) 繁殖管理システムや発情発見、分娩監視、監視カメラ等の ICT 機器の活用等により分娩間隔が県平均を上回る 342 日を実現している。
- (2) また夫婦で授精師として携わり、獣医師と連携しながら地域の分娩間隔短縮にも貢献されている。
- (3) 哺乳ロボットによる人工哺乳技術で子牛の発育向上を図るとともに、未利用資源（味噌粕）の利用、また妊娠牛導入による子牛生産の早期化と計画的な自家保留による育成費用の低減など省力低コスト化を実現している。



繁殖雌牛への給餌作業

長崎県知事賞

長崎県知事賞

受賞部門：露地野菜部門（トップファーマー）

氏名

なかやま しげみつ
中山 茂光

なかやま ちえ
中山 智恵

なかやま りゅうと
中山 竜斗

なかやま かずのり
中山 一徳

なかやま かずえ
中山 カズエ

市町名 諫早市

所属団体 JA ながさき県央ばれいしょ部会

JA ながさき県央にんじん部会

JA ながさき県央飯盛だいこん部会



1 経営の概要

	主品目（ばれいしょ、 にんじん、だいこん）	その他		合計
作付面積（頭羽数）	春作ばれいしょ 400a 冬にんじん 240a 秋冬だいこん 150a 秋作ばれいしょ 30a	-		820a
単収	春作ばれいしょ 4,053kg/10a 冬にんじん 2,275kg/10a 秋冬だいこん 7,361kg/10a 秋作ばれいしょ 2,500kg/10a	-		春作ばれいしょ 4,053kg/10a 冬にんじん 2,275kg/10a 秋冬だいこん 7,361kg/10a 秋作ばれいしょ 2,500kg/10a
生産量（販売量）	春作ばれいしょ 162.1t 冬にんじん 54.6t 秋冬だいこん 110.1t 秋作ばれいしょ 7.5t	-		春作ばれいしょ 162.1t 冬にんじん 54.6t 秋冬だいこん 110.1t 秋作ばれいしょ 7.5t
労働時間 （うち雇用時間）	9,260時間 (1,100時間)	-		9,260時間 (1,100時間)
家族従事者数	3.6人	経営の継続性	後継者が就農済	
労働条件の整備	家族経営協定（平成25年）			
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	にんじんにおいて県基準量より60%の減肥、長崎県版初心者用GAPの実践、 資源循環（地域内資源活用）			

2 受賞の理由（特徴的な取組）

- 共同機械利用組合の設立や、マニアスプレッダ、深耕ロータリなど土づくり機械の導入と普及、だいこんの3条播種装置、ユニック運搬車、にんじん収穫機といった省力化機械の導入など、地域の先頭に立った取組を先進的に行っている。
- 無人ヘリによる防除委託作業の導入など、規模拡大と併せた作業省力化を推し進め、省力化経営モデルとして、地域のゆとりある農業経営確立に貢献している。



丁寧に管理されただいこん畑にて

長崎県知事賞

受賞部門：施設野菜部門（トップファーマー）

法人名（設立年）

株式会社 ふかやまのうえん 深山農園

（平成 29 年）

代表者名 代表取締役 ふかやま 深山 しげき 繁樹

市町名 諫早市

所属団体 JA ながさき 県央いちご部会
南部支部



1 経営の概要

	主品目（いちご）	その他		合計
作付面積（頭羽数）	71.5a	—		71.5a
単収	6,476 kg/10a	—		6,476 kg/10a
生産量（販売量）	46.3t	—		46.3t
労働時間 （うち雇用時間）	21,096 時間 (15,496 時間)	—		21,096 時間 (15,496 時間)
家族従事者数	2.6 人	経営の継続性	法人化済（平成 29 年）	
労働条件の整備	—			
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	有機質肥料施用、天敵利用、長崎県版 GAP(熟練者用)実践、資源循環（地域内資源利用）			

2 受賞の理由（特徴的な取組）

- （1）他産地に先駆けてスマート農業技術の 1 つである環境制御技術に取り組み、長崎県のいちご環境制御技術確立に寄与するとともに、その後、統合環境制御システムを県内のいちご栽培で初めて導入し、単収向上を実現している。
- （2）施設の全棟に高設栽培システム、自動換気装置を導入するとともに、パック詰め作業においても自動フィルム張機を活用するなど、積極的に作業の省力化や環境改善に取り組んでいる。
- （3）令和元年産より、いちごを「冷凍いちご」として加工し、付加価値向上に繋げるとともに、県内の菓子業者へ販売するなど新たな販路拡大に向けた取組も進めている。



いちごの管理作業

長崎県知事賞

受賞部門：果樹部門（トップファーマー）

法人名（設立年）

有限会社 ^{しもこばのうえん} 下木場農園

（昭和 45 年）

代表者名 ^{やまくち ひろし} 山口 浩司

市町名 長与町

所属団体 長崎西彼農協

ことのうみ柑橘部会



1 経営の概要

	主品目（柑橘）	その他	合計
作付面積（頭羽数）	温州みかん 458a 中晩柑 125a	—	583a
単収	温州みかん 2,234 kg/10a 中晩柑 924kg/10a	—	温州みかん 2,234 kg/10a 中晩柑 924kg/10a
生産量（販売量）	温州みかん 68.4t 中晩柑 10.2t	—	温州みかん 68.4t 中晩柑 10.2t
労働時間 （うち雇用時間）	6,000時間 (1,600時間)	—	6,000時間 (1,600時間)
家族従事者数	2.5人	経営の継続性	法人化済（昭和45年）
労働条件の整備	—		
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	暦や発生予察に準じた計画防除・回数減、長崎県版GAP（初心者用）実践、資源循環（地域部門間連携：2者）		

2 受賞理由（特徴的な取組）

(1) スピードスプレーヤーやハンマーナイフモアなどの省力化機械の導入や、園内道、モノレールを整備するなど省力化に取り組んでいる。また、需要が高い品種への改植を計画的に進め、樹型をコンパクトに維持する等、作業の軽労化も実現している。

(2) 結実園ではシートマルチを被覆し、品質向上対策に取り組むとともに、樹勢や気象条件に応じて植物成長調節剤を有効活用し、省力化、高品質化を実践している。

(3) 巻き上げ式マルチやドリップ灌水を県内でいち早く導入し、干ばつ時や収穫後の樹勢回復に活用することで、気象の影響を受けにくい高品質果生産に取り組み、急傾斜地でも収益性が高い柑橘経営を実践している。



摘果作業

長崎県知事賞

受賞部門：花き部門（トップファーマー）

氏名

とくやす しゅういち
徳安 修一

市町名 南島原市

所属団体 長崎花き園芸農業協同組合

バラ部会

長崎県花き振興協議会

バラ部会



1 経営の概要

	主品目（バラ）	その他	合計
作付面積（頭羽数）	50a	—	50a
単収	87,671 本/10a	—	87,671 本/10a
生産量（販売量）	438,356 本	—	438,356 本
労働時間 （うち雇用時間）	12,360 時間 (5,960 時間)	—	12,360 時間 (5,960 時間)
家族従事者数	2.6 人	経営の継続性	経営主が 60 歳以下
労働条件の整備	家族経営協定（平成 27 年）		
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	有機質資材の使用、減化学農薬への取組（防虫ネット、防蛾灯等）、減化学肥料への取組（有機質配合肥料、灌水同時施肥システム等）、生産履歴記帳		

2 受賞理由（特徴的な取組）

- (1) 環境制御技術や少量土壌培地耕栽培等の技術を全国でもいち早く取り入れ、収量及び品質向上、圃場占有期間の短縮、省力化等の技術確立や現地普及に大きく貢献している。
- (2) 小売店ニーズに応じて、小ロット販売へ取り組み、安定した単価を確保している。さらに商談会参加や市場等との情報交換による新たな販路拡大を実現している。
- (3) コロナウイルスの影響を大きく受けた病院や地域内の小学校へバラを自主的に無償提供し、地元産花きに触れ合う機会を創出する等、地域貢献活動に取り組むとともに本県花きの振興に寄与している。



収穫作業の様子

長崎県知事賞

受賞部門：特産部門（トップファーマー）

氏名

そのだ やするう
園田 裕朗

そのだ
園田 ひとみ

市町名 島原市

所属団体 西九州たばこ耕作組合島原支所



1 経営の概要

	主品目（葉たばこ）	その他（野菜）	合計
作付面積(頭羽数)	葉たばこ 270a	にがうり 50a スイートコーン 45a スナップえんどう 1a すいか 1a	367a
単収	271 kg/10a	—	—
生産量（販売量）	7.3t	にがうり 13.5t スイートコーン 6.0t スナップえんどう 0.1t すいか 0.4t	—
労働時間 (うち雇用時間)	3,400 時間 (192 時間)	2,240 時間 (0 時間)	5,640 時間 (192 時間)
家族従事者数	2.3 人	経営の継続性	経営主が 60 歳以下
労働条件の整備	家族経営協定（令和 3 年）		
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	土壌診断に基づく適正施肥、発生予察に基づく適期防除、深層土壌くん蒸、周辺人家・ほ場との協調、たばこ耕作組合 GAP、資源循環（自己完結）		

2 受賞理由（特徴的な取組）

- 雲仙普賢岳大火砕流の 3 年後に就農し、葉たばこの省力機械化、圃場集約化による規模拡大に取り組んだ。地域に先駆けて導入した定植機は、省力的作業が女性部で話題になるなど、先進的な取組の地域への波及効果は大きい。
- 葉たばこの品種変更時には、研修会などで品種特性の把握に努め、実需者に高く評価される品質を維持し、売り上げを着実に伸ばすなど技術力が非常に高い。
- たばこ耕作組合島原支所の青年部長や女性部長を歴任され、平成 30 年度、長崎県葉たばこ振興協議会主催の優良農家表彰事業で県知事賞を授与されるなど、次世代の葉たばこ農家を牽引するリーダーとして今後の活躍が期待される。



収穫した葉たばこの乾燥調整作業

長崎県知事賞 受賞部門：林産部門（トップファーマー）

法人名（設立年）

有限会社 きのこ屋^や
（平成 15 年）

代表者名 代表取締役 おおむら けんご 大村 謙吾

市町名 平戸市

所属団体 -



1 経営の概要

	主品目 (菌床しいたけ)	その他 (きくらげ)	合 計
作付面積(頭羽数)	42a 530,000 菌床	15,000 菌床	42a 545,000 菌床
単収	3.15t/a	-	-
生産量 (販売量)	132.4t	7.7t	140.1t
労働時間 (うち雇用時間)	42,080 時間 (40,000 時間)	-	42,080 時間 (40,000 時間)
家族従事者数	2 人	経営の継続性	法人化済 (平成 15 年)
労働条件の整備	就業規則の規定有		
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	有機 JAS 認定 (H26)、きのこ GAP への取組、菌床原料のオガ粉は長崎県産の 原木を使用		

2 受賞の理由 (特徴的な取組)

- (1) 平成 26 年に菌床しいたけ栽培で九州初の有機 JAS 認定を取得し、現在は県内唯一の認定となっている。
- (2) 加工品「ピリ辛椎茸もろみ」等を独自に開発し、販売を行うなど、6 次化に取り組んでいる。
- (3) 福祉施設に商品ラベル貼付等の業務委託を行うなど農福連携にも取り組むとともに、地元小学校での食育教室の開催や、しいたけ収穫体験の受入も行っている。
- (4) 菌床原料のオガ粉は長崎県産の原木を利用しており、地域の林産業に貢献している。



有機 JAS しいたけと加工品およびパック詰め

長崎県知事賞 受賞部門：しまの農林業経営部門（トップファーマー）

氏名

やまもと としお やまもと てつや
山本 利夫 山本 哲也
 やまもと みほこ やまもと えり
山本 美萌子 山本 江里

市町名 壱岐市

所属団体 勝本町和牛部会
 JA 壱岐市アスパラガス部会
 勝本地区納豆生産組合
 壱岐牛研究会



1 経営の概要

	主品目（肉用繁殖牛）	その他（アスパラガス）	合計
作付面積（頭羽数）	81 頭	5.1a	—
単収	—	4,097kg/10a	—
生産量（販売量）	51 頭	2.1t	—
労働時間 （うち雇用時間）	4,270 時間 (160 時間)	2,420 時間 (0 時間)	6,690 時間 (160 時間)
家族従事者数	4 人	経営の継続性	後継者が就農済
労働条件の整備	家族経営協定（平成 20 年）		
安全・安心と環境に 調和した農業の取組	エコフィードの利活用、堆肥の供給、自給飼料、生産履歴記帳、生産履歴に基づく販売、資源循環（地域・部門間連携：3 者）		

2 受賞の理由（特徴的な取組）

(1) 肉用牛繁殖部門では、壱岐地域で初めて導入されたミルメーカーによる省力化、人工哺乳管理による事故発生率の低減、自給飼料生産や納豆製造過程で発生する大豆の煮汁を用いたエコフィードの活用によるコスト削減を図りながら、飼養管理の徹底、高能力母牛集団の構築により、高品質な子牛を生産している。



繁殖牛への給餌作業

(2) アスパラガス部門では、有機肥料利用による土づくりと適正な立茎管理により、単収 4 t と県平均の 2 倍以上の高い収量をあげている。

(3) 家族のメンバーそれぞれが地域活動組織のリーダーであり、農業士、肉用牛・アスパラガスの生産組織のリーダー、納豆生産組合の組合長を歴任され、農業振興に大いに貢献している。さらに、哲也氏（農業士）は、壱岐市で肉用牛後継者組織を立ち上げ、技術支援や若手の育成にも寄与している。

長崎県知事賞

受賞部門：産地集団部門（いきいきファーム）

ながさきせいひのうきょう
長崎西彼農協

ことのうみいちごぶかい
部のいちご部会

代表者名 部長 平 利樹

市町名 長崎市

発足・設立年 平成 15 年



1 組織の概要

品目	いちご	構成員数 (認定農業者数)	15人 (7人)	産地規模	3.28ha
販売量	173 t		販売額	204,000 千円	
単収	5,284kg/10a		単価	1,179 円/kg	

2 受賞理由（特徴的な取組）

- (1) 目標単収 2 万パック (5,400kg) 達成に向け、日頃の情報交換や意識統一を進め、栽培技術の徹底を基本に、環境制御や多収品種「ゆめのか」等の新技術・新品種を導入することで、平成 27 年以降、県いちご部会で毎年 1 位の単収を実現し、平均単収全国 3 位となった県いちご部会を牽引している。



現地検討会（本圃）

- (2) 担い手の確保・育成にも力を入れており、産地、部会員の現状と将来を見える化した担い手育成計画の作成の他、JA のハウスリース事業と担い手支援センターとの連携を積極的に進め、この 5 年間で新規就農者を 5 名確保するなどの成果を出している。
- (3) 経営面の活動として、経営の振り返りから経営改善につなげる個別経営面談等、産地の維持発展を視野に入れた幅広い活動を展開し、本県のいちご産地の牽引と地域農業の振興に大きく貢献している。

長崎県知事賞

受賞部門：農山村地域保全部門（げんきビレッジ）

合同会社 ながさき^{ゆめ}夢ファーム

代表者名 代表社員 ^{みぞくち}溝口 ^{ひろゆき}博幸

市町名 長崎市

発足・設立年 平成 25 年



1 組織の概要

構成員数	8 名	組織の性格	長崎市内の鳥獣害対策を一手に担う合同会社
活動内容	有害鳥獣対策相談、現地調査、対策指導・支援、食肉加工処理・販売		
活動実績	市民からの相談対応：年間 1,000 件 市内全域で捕獲隊立ち上げを支援：107 組織（H25 年度～R2 年度） 鳥獣防護柵設置の推進・支援：733km（H25 年度～R2 年度）		

2 受賞理由（特徴的な取組）

- （1）市より有害鳥獣対策相談等業務、加工処理場事務を委託され、鳥獣対策の支援を行う総合的な専門集団として、市の農作物被害の減少と自治会等による地域の生活環境改善に貢献している。
- （2）鳥獣被害相談を適正な鳥獣対策を広める機会と捉え、地域に入り込みコンサルティングを実施することで、免許を所持しない住民も参加できる「捕獲隊」結成を支援し、県内捕獲隊（331 チーム）の



適正な防護柵設置の指導、支援状況

- 約 3 分の 1 にあたる市内 107 チームの立ち上げに尽力し、地域ぐるみの有害鳥獣の捕獲対策に貢献している。
- （3）ワイヤーメッシュ防護柵の設置を推進し、平成 25 年度から令和 2 年度までの 8 年間で約 733km の整備に貢献し、併せて防護柵の適切な維持管理を指導することで、農作物被害額の減少に大きく貢献している。
- （4）捕獲個体を有効活用するため、従来の獣肉の悪いイメージの払拭に向け、徹底した衛生管理と高い処理加工技術による食肉の販売やハム、ソーセージ、ジャーキーなど多彩な商品開発を行うことで地域ビジネスに積極的に取り組んでいる。